



# 華となれ!

宮城県仙台二華中学校  
学校だより 第32号

【発行日】平成30年10月22日

【連絡先】022-296-8104

【文責】

1学年主任 菅原 正嗣

## 【1年SR秋巡検】

10月12日（金）に1学年では年3回予定している野外巡検を実施しました。今回の学習は、春巡検でグループごとに設定した「我々の木の観察」と焼河原での「石英採集」と「化石採集」でした。当日、仙台駅周辺は曇り空だったのですが、泉ヶ岳に近付くにつれてあいにくの小雨模様となってしまいました。それでも、泉ヶ岳に到着した生徒たちは雨具を身に付け、勇んで我々の木の下（もと）へ。春とは異なる装いの木だけに、見付け出すのに苦労するかと思いきや、すぐに生徒たちは自分たちが設定した「我々の木」との再会を果たしました。木の高さや幹の太さの測定、地表の観察、葉の形状観察等、多彩なメニューに段取り良く取り組みました。途中、雨も上がり、照度の測定データを集めることもできました。生徒たちも一安心。そして、季節の移ろいのなかで自分たちの木が変化していることを感じ取っていました。

昼食後、生徒たちはバスで焼河原へ移動しました。最初に生徒たちは石英の採集に取り組みました。広瀬川凝灰岩の露頭に向き合った生徒は、ハンマーとたがねでわずかに光る石を見付けては掘出し、長さが5mm以上の石英を採集した生徒もいました。その後、上流へ移動し竜の口層へ。地層の露頭のみならず河底まで化石が露出している様子にとっても驚いていました。作業開始の指示が出るや、生徒たちは多少水に濡れることはお構いなしで、一心不乱に化石を掘り起こしていました。「タカハシホタテ」や「センダイヌノメハマグリ」等を掘り当てては、目を輝かせて500万年の歴史の産物に見入っていました。

次回の巡検は1月12日。どのような学びが待っているのか、今から期待がふくらみます。



道具を受け取って、いざ我々の木の下へ



我々の木を無事発見！



木はどれくらい大きくなったかなあ



春に覚えた草笛、上手に吹けた！



一番大きな石英はどこ～？



なかなか良い形の石英だね



ここならお宝がありそうだ～



500 万年前の化石に感動！

## 【各種大会の入賞者】

二華中生が多方面で活躍しています。各種大会での入賞者を紹介します。

### 《宮城県中学校英語暗唱・弁論大会》

暗唱の部 最優秀賞 内ヶ崎さん（東北大会出場）

### 《仙台市中総体新人大会》

**卓球** 若林区男子団体 第1位（県大会出場）

若林区女子個人 第2位 伊藤さん

**剣道** 若林区2年男子個人 第3位 渡部さん

#### バドミントン

若林区男子団体 第3位

**新体操** 2年クラブ 第2位 鳥丸さん

2年ボール 第7位 佐々木さん

1年リボン 第2位 目黒さん

#### ソフトテニス

若林区女子個人 第5位 西原・宮崎ペア

**陸上** 男子四種競技 第2位 石川さん

男子走幅跳 第8位 横山さん

女子 800m 第6位 佐藤さん

若林区女子団体 第1位（県大会出場）

若林区女子個人 第3位 小齋さん

若林区2年女子個人 第3位 伊藤さん

若林区女子団体 第2位（県大会出場）

2年リボン 第6位 橋本さん

1年ボール 第2位 郷家さん

1年リボン 第8位 横山さん

男子砲丸投 第3位 中野さん

女子砲丸投 第6位 星さん

女子1年走幅跳 第7位 加藤さん